

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【公表番号】特表 2002-504941(P2002-504941A)
【公表日】平成 14 年 2 月 12 日 (2002.2.12)
【出願番号】特願平 11-502452
【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 D 171/02

B 4 1 J 2/01

B 4 1 M 5/00

C 0 8 J 7/04

C 0 9 D 5/02

【F I】

C 0 9 D 171/02

B 4 1 M 5/00 B

C 0 8 J 7/04 H

C 0 9 D 5/02

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 5 月 11 日 (2005.5.11)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成17年 5月11日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成11年特許願第502452号

2. 補正をする者

氏名(名称) ヒューレット・パカード・カンパニー

3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 明細書および請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書および請求の範囲



6. 補正の内容

イ. 明細書

(1) 1頁21行

「その25重量%」とあるを「少なくともその25重量%」と訂正する。

(2) 2頁7行

「その25重量%」とあるを「少なくともその25重量%」と訂正する。

ロ. 請求の範囲

別紙の通り。

以上

[別 紙]

請 求 の 範 囲

1. コーティング組成物であって、
 - (a) 揮発性水性液体媒体、および
 - (b) 該揮発性水性液体媒体中に溶解または分散されるバインダーであって、重量平均分子量100,000～3,000,000の範囲の水溶性ポリ（エチレンオキサイド）がフィルム形成性有機ポリマーの少なくとも20重量%を占め、および前記フィルム形成性有機ポリマーがコーティング組成物の固形分の20～80重量%を占めるもの、および
 - (c) 微分散された実質上水不溶性のフィラー粒子であって、少なくともその25重量%が微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子であって、前記フィラー粒子が、500nm未満の最大寸法を有しかつコーティング組成物の固形分の20～80重量%を占めるものを含むコーティング組成物。
2. バインダーが揮発性水性液体媒体中に溶解される、請求項1記載のコーティング組成物。
3. フィラー粒子が100nm未満の最大寸法を有する、請求項2記載のコーティング組成物。
4. フィラー粒子が50nm未満の最大寸法を有する、請求項2記載のコーティング組成物。
5. フィラー粒子がコーティング組成物の固形分の30～65重量%を占める請求項2記載のコーティング組成物。
6. 微分散された実質上水不溶性のフィラー粒子の少なくとも50重量%が、微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子である請求項2記載のコーティング組成物。
7. 微分散された実質上水不溶性のフィラー粒子の実質上100重量%が、微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子である請求項2記載のコーティング組成物。

8. 微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子が微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性ポリエチレン粒子である請求項2記載のコーティング組成物。

9. 微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子が微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性マレイン酸エステル化ポリプロピレン粒子である請求項2記載のコーティング組成物。

10. 重量平均分子量100,000～3,000,000の範囲の水溶性ポリ（エチレンオキサイド）がフィルム形成性有機ポリマーの少なくとも51重量%を占める請求項2記載のコーティング組成物。

11. 重量平均分子量100,000～3,000,000の範囲の水溶性ポリ（エチレンオキサイド）がフィルム形成性有機ポリマーの少なくとも95重量%を占める請求項2記載のコーティング組成物。

12. フィラー粒子とバインダーが合わせて、コーティング組成物の2～25重量%を占める請求項2記載のコーティング組成物。

13. フィラー粒子とバインダーが合わせて、コーティング組成物の5～12重量%を占める請求項2記載のコーティング組成物。

14. 水が揮発性水性液体媒体の少なくとも80重量%を占める請求項2記載のコーティング組成物。

15. 揮発性水性液体媒体が、コーティング組成物の75～98重量%を占める請求項2記載のコーティング組成物。

16. (a) 少なくとも一つの表面を有する支持体と

(b) その表面上のコーティング

を含む印刷用媒体であって、前記コーティングが、

(1)有機ポリマーを含むバインダーであって、重量平均分子量100,000～3,000,000の範囲の水溶性ポリ（エチレンオキサイド）がバインダーの有機ポリマーの少なくとも20重量%を占め、およびバインダーの有機ポリマーがコーティングの20～80重量%を占めるもの、および

(2)微分散された実質上水不溶性のフィラー粒子であって、少なくともその25重量%が微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリ

マー粒子であって、前記フィラー粒子が、500 nm未満の最大寸法を有し、バインダー全体に亘って分散されかつコーティング組成物の固形分の20～80重量%を占めるものを含む、印刷用媒体。

17. フィラー粒子が100 nm未満の最大寸法を有する、請求項16記載の印刷用媒体。

18. フィラー粒子が50 nm未満の最大寸法を有する、請求項16記載の印刷用媒体。

19. フィラー粒子がコーティング組成物の固形分の30～65重量%を占める請求項16記載の印刷用媒体。

20. 微分散された実質上水不溶性のフィラー粒子の少なくとも50重量%が、微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子である請求項16記載の印刷用媒体。

21. 微分散された実質上水不溶性のフィラー粒子の実質上100重量%が、微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子である請求項16記載の印刷用媒体。

22. 微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子が微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性ポリエチレン粒子である請求項16記載の印刷用媒体。

23. 微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性有機ポリマー粒子が微分散された実質上水不溶性の非フィルム形成性熱可塑性マレイン酸エステル化ポリプロピレン粒子である請求項16記載の印刷用媒体。

24. 重量平均分子量100,000～3,000,000の範囲のポリ（エチレンオキサイド）が、バインダーの前記有機ポリマーの少なくとも51重量%を占める請求項16記載の印刷用媒体。

25. 重量平均分子量100,000～3,000,000の範囲のポリ（エチレンオキサイド）が、バインダーの前記有機ポリマーの少なくとも95重量%を占める請求項16記載の印刷用媒体。

26. コーティングが、インク受容性有機ポリマーを含むオーバーコーティン

グで被覆されている請求項 1 6 記載の印刷用媒体。

2 7. コーティングの厚さが $5 \sim 40 \mu\text{m}$ の範囲である請求項 1 6 記載の印刷用媒体。

2 8. 請求項 1 6 記載の印刷用媒体にインク液滴を適用することを含む印刷方法。